

カンボジア
中央カルダモン森林保全プロジェクト

現地からのお便り

2017年5月
コンサベーション・インターナショナル

中央カルダモン国立公園の管理

今期も、環境省による中央カルダモン国立公園の管理をすすめてきました。2か所の犯罪拠点の手入れにより違法行為を大幅に防ぐことができました。環境省によるスタッフのトレーニングも続けられています。

CIは、環境省や協力機関とともに、今後の公園管理の様々な可能性を検討しています。より多くの組織が管理コストの負担を担い、重要な技術面でのサポートを行えるような、現在の管理方法の持続可能な代替案を探しています。

トラストファンド（基金）

今期は理事会は開催されませんでした。資金調達を増やし、資金調達源を多様化するための様々な仕組みを検討するために、2回の会合が開催されました。例えば、中央カルダモン国立公園の入園券販売による収入を基金に組み込めといった案も出ています。

パトロールと違法行為への対応

今期もパトロールには多くの成果がありました。179回のパトロールと62回の抜き打ち検査を行った結果、48台のチェーンソーを押収し、所持していた人物を逮捕して地方裁判所に届け出ました。48個のナイロン製のわなと7個のロープ式のわなも押収されました。



スッポンを捕まえるための 7 本の釣り糸と 10 本の網のわなも除去しました。13 ヘクタールの土地を違法な開墾から守り、記録を裁判所に提出しました。約 14 万立方メートルの木材、車両 2 台、軍のトラクター 1 台を含むトラクター 2 台、掘削機 2 台が押収されました。

2 か所の犯罪拠点の手入れの結果、3 匹のセンザンコウ、サンバー（シカの仲間）の死体一体とともに、なた 7 丁、斧 2 丁、自家製銃 1 丁も押収されました。



パトロールの様子と押収された木材 (写真：Peov Somanak/MoE)

コミュニティ主導型のエコツーリズム (Community Based Eco-tourism)

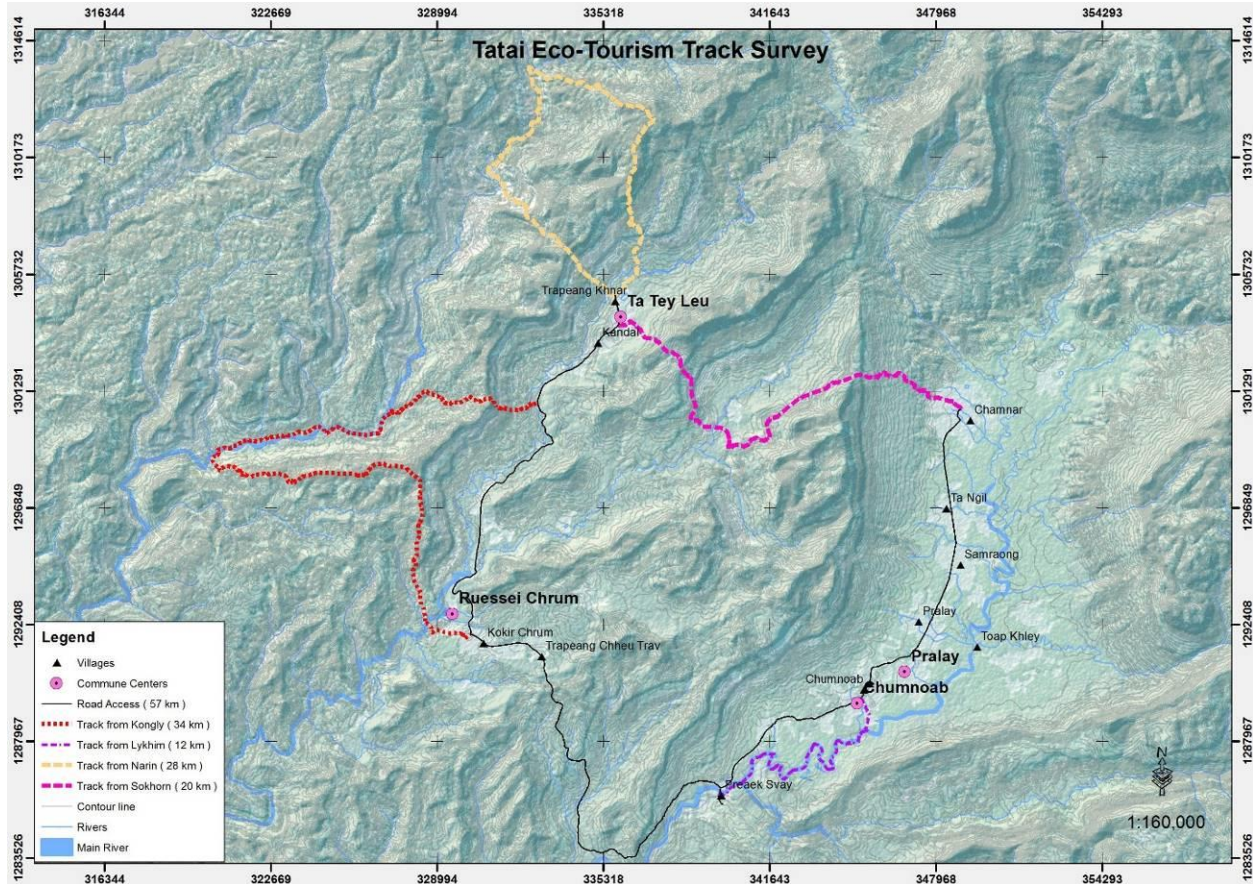
今期も精力的な活動を行いました。ツアープログラムの実施に必要な体制を強化し、トレッキングコースなどを新しく設定しました。

他の複数の NGO と会合を開き、エコツーリズムのアクティビティの調整やコミュニティメンバーへのトレーニングに関する情報共有について考えました。このプロセスは、将来的に、こ

の地域でのエコツーリズムのアクティビティに全体的なまとまりをもたせ、提供するサービスや様々なプロセスを標準化していくのに役立ちます。

1月下旬にはワークショップを開催しました。2017年のエコツーリズムのアクティビティを計画し、地元政府や政府機関と最も効率よく協働できる方法を検討しました。

また、コミュニティにエコツーリズムの将来性を知ってもらうため、プロジェクトチームとコミュニティのメンバーは、近隣で実施中のエコツーリズムプロジェクトを訪問しました



エコツーリズムのルートの調査